

事業所における自己評価総括表

別紙3)

公表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援 あうりんこ谷山		
○保護者評価実施期間	R8年 1月 6日		R8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	R8年 1月 6日		R8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	38人	(回答者数) 28人
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種でお子様の発達段階を評価し、情報交換を行い支援の提供を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・言語、行動、運動・感覚面などそれぞれの職種で評価し、情報共有を行い支援プログラムを考えている。 ・日々のミーティング、支援記録などを活用し継続した支援を行っている。 ・事業所内で各専門職の研修を開催している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続した支援、支援の質向上に努める為に、事業所内での定期的な研修を行う。 ・外部の研修への積極的な参加を継続して行い、研修後の周知研修を行っていく。
2	活動が固定化しないよう様々な活動を取り入れている。	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの発達段階に合わせて、運動活動、机上活動、手指操作など様々な道具を使って活動を行っている。 ・コミュニケーション面についても、各職員が支援できるような情報共有を行っている。 ・専門的な視点を取り入れて活動内容に反映している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も定期的に評価を行い、お子様の発達段階を把握し、発達段階に合った支援が行えるよう務めていく。 ・支援に関する情報共有を継続して行い、様々な活動を提供していく。
3	保育所等訪問支援サービスを行っており、保護者、園、各関係機関と連携が行える。	<ul style="list-style-type: none"> ・園、相談員、併用事業所などから要望がある際は、随時見学を受け入れている。 ・保育所等訪問での様子を共有し支援に取り入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も保育所等訪問の様子を情報共有し、お子様の発達段階に合わせた支援を行うことで、園などでの集団生活・家庭へ反映できるよう努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族同士の交流や家族の参加する研修の機会がない。	<ul style="list-style-type: none"> ・要望がないため開催の機会がなかった。 ・会場や駐車場の確保が難しい。 ・個別での家族支援は行っているが、集団で支援する機会はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・要望があった際に保護者会など検討していく。 ・書籍の貸し出しや個別に家族支援を行っていく。
2	地域との交流が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の店に行き交流する機会はあるが、事業所の立地や設備上地域の方を招待することが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・戸外活動を継続して地域との交流を図っていく。 ・地域に貢献する活動を検討していく。
3	定期的な発信が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・個別でのお知らせが主であり、全体への周知が少ない。 ・個人情報保護の観点から全体への周知の難しさあり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・要望があった際には、発信の仕方を検討していく。